

# 市民一人当たりへの支出と負担はいくら？

市民一人あたりへの支出は約552,000円ですが、そのうち111,000円を皆さんの税金で、残りの449,000円は国や道からの交付金や借金などによりまかっています。差額の8,000円は翌年度へ繰り越しました。

**市民一人当たりへの支出**

平成20年度支出の市民一人当たりの支出額をみると

**合計額は、552,000円**

※「一人当たりは、平成21年3月末現在の住民基本台帳25,459人で算出しています。

**人件費**

約99,000円

職員(市長・副市長・教育長含む)の給料や手当、市議会議員や嘱託職員の報酬、退職金など

**公債費**

約95,000円

借金の返済

**特別会計への繰出金など**

約98,000円

病院・水道・国保・老人・後期高齢者・介護・港湾・下水道の事業会計に支払った経費

**民生費・衛生費**

約97,000円

福祉・生活保護・医療・ごみ処理などに係る経費

**土木費**

約33,000円

道路・公園・港湾などの整備や維持、除雪などに係る経費

**教育費**

約16,000円

学校教育や公民館・図書館など教育施設に係る経費

**その他**

約114,000円

議会費・農林水産業費・商工費・消防費・災害復旧費など

**市民一人当たりの負担**

平成20年度収入の市民一人当たりの税負担額をみると

**合計額は、111,000円**

※国や道からの交付金や借金などは、市民一人当たり449,000円

**市民税**



約52,000円

**固定資産税**



約42,000円

**軽自動車税**



約1,000円

**都市計画税**



約8,000円

**たばこ税**

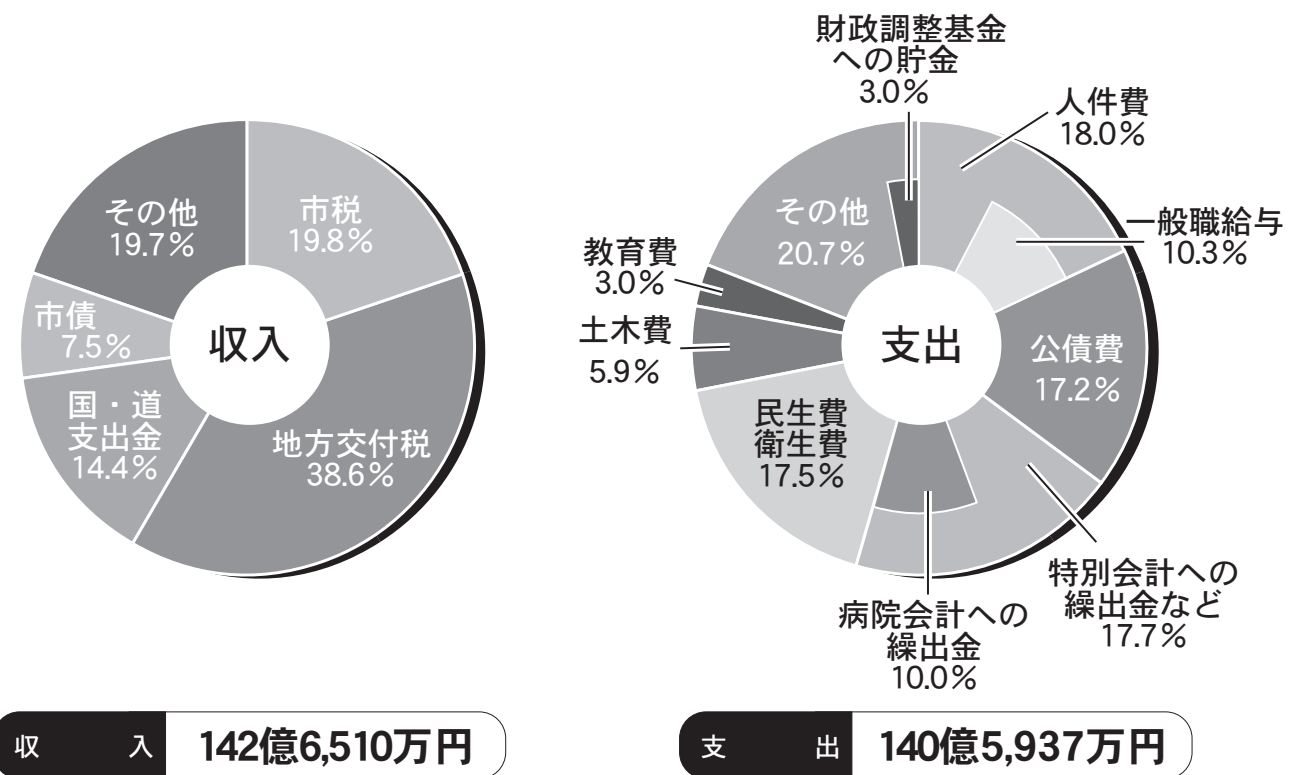


約8,000円

# 平成20年度 留萌市決算報告

## 決算状況を報告します

一般会計の決算は1億9,488万円の黒字となり、また、4億1,815万円を財政調整基金(貯金)に積み立てました。この貯金は、新・財政健全化計画で収支不足を補うため計画的に使用していくものです。



**黒 字 1億9,488万円**

注) 翌年度に繰り越すべき財源(1,085万円)を除いています。

式: (収入) - (支出) - 1,085万円 = (黒字)

**■収入の内訳** ※( )内は昨年度の金額/単位:万円

科目	金額	内 容
市 税	28億2,404 (28億6,237)	市民税や固定資産税などの税金
地方交付税	55億182 (51億8,761)	市の財政規模に応じて、国から配分されるお金(臨時財政対策債を含む)
国・道支出金	20億5,261 (17億5,420)	個別の事業ごとに国や北海道から入ってくるお金
市 債	10億7,457 (7億3,830)	道路や建物の建設費などに充てるための借入金
そ の 他	28億1,206 (21億8,132)	使用料や手数料など
合 計	142億6,510 (127億2,380)	

**■支出の内訳** ※( )内は昨年度の金額/単位:万円

科目	金額	内 容
人 件 費	25億3,010 (24億1,745)	職員(市長・副市長・教育長含む)の給料・手当、市議会議員や嘱託職員の報酬、退職金など
公 債 費	24億1,465 (27億564)	借金の返済
特別会計への繰出金など	24億8,530 (17億8,879)	病院・水道・国保・老人・後期高齢者・介護・港湾・下水道の事業会計に支払った経費
民 生 費 衛 生 費	24億5,837 (25億6,673)	福祉・生活保護・医療・ごみ処理などに係る経費
土 木 費	8億3,796 (8億8,126)	道路・公園・港湾などの整備や維持、除雪などに係る経費
教 育 費	4億2,064 (4億5,966)	学校教育や公民館・図書館など教育施設に係る経費
そ の 他	29億1,235 (17億1,776)	議会費・農林水産業費・商工費・消防費・災害復旧費など
合 計	140億5,937 (125億3,729)	

### 一般会計の収入と支出は？

#### 収入の主な増減は

- 市税は人口の減少や景気の低迷などにより市民税が2千万円減少し、たばこ税も喫煙の低下などにより2千万円の減少となっています。
- 地方交付税は、地域再生対策費の創設や下水道経費の算定方法の変更・公債費償還の増などにより、3億1千万円の増加となりました。
- 国・道支出金は定額給付金給付事業や国の経済対策費などにより、3億円の増加となりました。
- 市債は公的資金借換債が4千万円増加となったほか、退職者が増加し、その財源確保のため退職手当債を発行したことにより、3億4千万円の増加となりました。
- そのほか、土地開発公社貸付金収入が6億5千万円増加、留萌市応援寄附金が4千万円増加、土地売却収入が2千万円増加などとなっています。

#### 支出の主な増減は

- 一般職給与は職員数の削減などにより1億9千万円減少していますが、退職者が13人増加し、退職手当が3億1千万円増加となり、人件費は1億1千万円増加しました。
- 公債費は借金の返済が8千万円増えたことや減債基金への積立金(3億7千万円)がなくなったことにより、2億9千万円の減少となりました。
- 特別会計への繰出金などは、赤字を抱える病院会計への繰出金8億4千万円(前倒し支援6億6千万円含む)の増加や下水道会計へ8千万円特別支援したことにより、7億円の増加となりました。
- 教育費は、小中学校管理で2千万円の減少、図書館費で5百万円の減少などにより、4千万円の減少となりました。
- そのほか、財政調整基金への積立金3億4千万円の増加や、定額給付金支給費2億5千万円の増加などとなり、一般会計の決算は1億9千万円の黒字となりました。

# 留萌市全体の決算は？

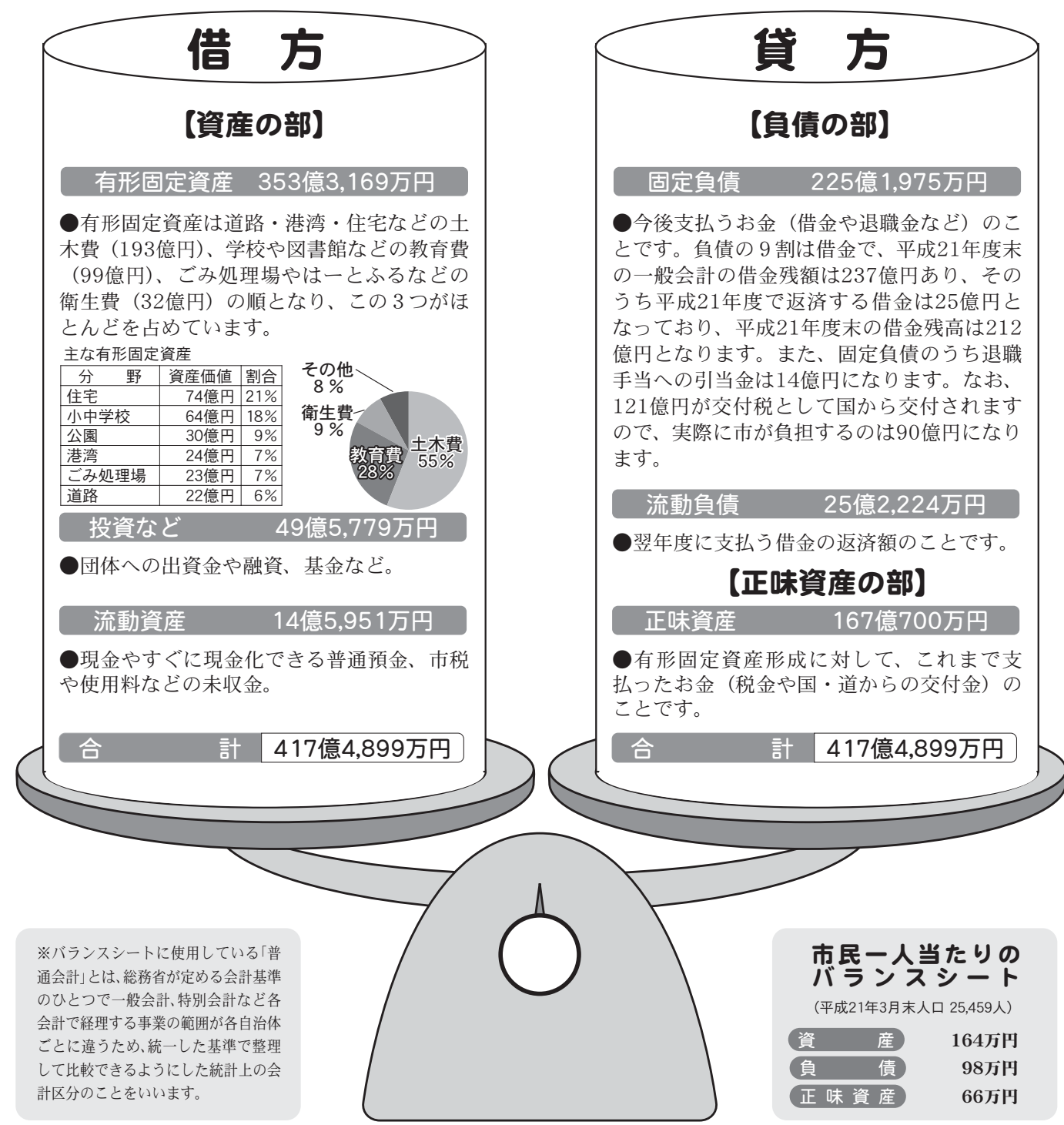
7億4千万円の赤字

▼健全化法による留萌市全体の平成20年度の赤字額は平成19年度の28億9千万円から7億4千万円にまで大幅に改善しました。これは病院会計が公立病院特例債を18億2千万円発行したことや6億6千万円の前倒し支援を受けたことにより8億1千万円にまで累積赤字が解消できたためです。下水道会計においても8千万円の特別支援を受けたことで累積赤字は3千万円にまで改善しました。また、国保会計においても制度改正により国・道からの交付金が増加したことなどにより10年ぶりに単年度収支が黒字となりました。

このほか、老人会計、後期高齢者会計、介護会計で黒字決算となり、総額で21億6千万円赤字を解消することができました。

# 平成20年度 バランスシート 普通会計

バランスシートとは、市がこれまでに進めてきたまちづくりで築いた公共施設などの資産とその財源、現在ある資産に対する世代間の負担割合などが分かる資料です。  
資産形成に結びつかない福祉施策などのソフト事業は、バランスシートに表すことができないので、決算を説明する資料のひとつとしてご覧下さい。



※バランスシートに使用している「普通会計」とは、総務省が定める会計基準のひとつで一般会計、特別会計など各会計で経理する事業の範囲が各自治体ごとに違うため、統一した基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分のことをいいます。

## 平成20年度留萌市全体の決算額

(単位：万円)

会計	歳入	歳出	平成20年度収支	平成19年度収支	平成20年度一般会計繰入金	
一般会計	142億6,510	140億5,937	1億9,488	1億8,229	-	
特別会計	国民健康保険事業	25億8,208	29億5,028	▲3億6,820	▲3億7,453	1億8,105
	老人保健事業	3億8,008	3億7,316	692	3,845	2,394
	後期高齢者医療事業	2億4,743	2億4,652	91	-	7,117
	介護保険事業	15億7,589	15億4,259	3,330	3,282	2億2,886
	港湾事業	3億1,408	3億1,406	0	0	1億2,936
	下水道事業	22億6,835	27億4,557	▲4億7,722 (▲2,535)	▲5億644 (▲3億6,545)	4億2,332
小計	73億6,792	81億7,219	▲8億429 (▲3億5,242)	8億970 (6億6,871)	10億5,770	
	流動資産	流動負債	平成20年度収支	平成19年度収支	平成20年度一般会計繰入金	
企業会計	水道事業	2億8,341	4,951	2億3,390	3億4,000	2,333
	病院事業	8億3,168	16億4,467	▲8億1,299	▲27億4,640	14億427
	小計	11億1,509	16億9,418	▲5億7,909	▲24億640	14億2,760
留萌市全体	-	-	▲11億8,850 (▲7億3,659)	▲30億3,380 (▲28億9,281)	24億8,530	

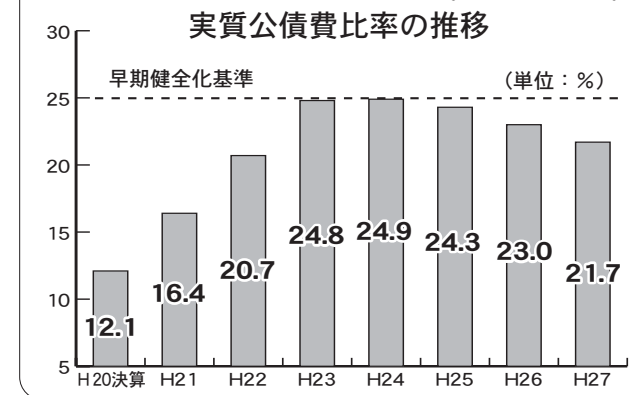
注1) 平成20年度収支は翌年度への繰越金を除いています。(一般会計1,085万円、港湾会計2万円)  
注2) それぞれの会計で端数調整しているため、合計が合わない場合があります。  
注3) 下水道事業の( )は健全化法の取り扱いによる赤字額です。

### 赤字会計の状況

病院事業会計/度重なる診療報酬のマイナス改定や慢性的な医師不足などにより平成13年度から不良債務が発生し、平成19年度末には約27億5千万円にまで拡大しました。この不良債務を解消し、地域医療を確保するために公立病院特例債の発行や一般会計からの前倒し支援を行った結果、平成20年度決算で8億1千万円まで不良債務を解消することができました。今後は「留萌市立病院改革プラン」に基づき、経営改革を断行し単年度収支均衡を図っていきます。

下水道事業会計/下水道整備事業が継続中であり、事業のために発行する借金の返済に料金を収入が追いつかず経営を圧迫し、平成19年度決算は累積で3億7千万円の赤字となっていました。そのための平成20年7月納付分からの使用料の改正や、一般会計からの8千万円の特別支援などにより、3千万円にまで累積赤字を解消することができました。

国民健康保険事業会計/医療制度の改正に伴い、国からの前期高齢者交付金・後期高齢者支援金の概算交付があったため、10年ぶりに単年度収支が1千万円黒字となりましたが、根本的に改善したとは言えず、今後も収入確保や医療費の抑制などによる赤字解消が必要で、累積で3億7千万円の赤字となりました。



### 今後の財政状況

広報10月号でもお知らせしましたが、一般会計の借金の返済などを指標化し、資金繰りの危険度を示す実質公債費比率は平成20年度決算で12.1%と健全な水準となつていますが、平成21年度以降は悪化が進み、平成24年度には24.9%にまで悪化する見込みです。平成25年度以降は改善していきませんが、一般会計の借金の返済が平成22年度にピークを迎えることや公立病院特例債18億2千万円の返済と平成20年度末に残る市立病院の赤字を今後7年間で解消していくためには、早急な対応が不可欠です。

「新・財政健全化計画」を着実に実行し、計画を1日でも早く達成できるように皆さんと努めてまいります。

詳しくは、12月1日公表の留萌市財政事情説明書で解説しています。市ホームページまたは市役所1階市政情報コーナーでご覧いただけます。

お問い合わせは、市・財務課  
☎ 42・1813 (直通)